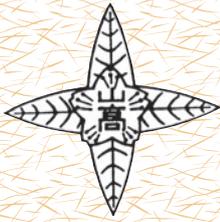


第75号

編集・発行 日本大学山形高等学校  
図書部  
図書委員会  
発行日 令和2年2月19日  
(株)大風印刷



日大山形

図書館報



読書の楽しみ

教頭 渡部 正信

文庫本が好きだ。安価で手軽に持ち運びができる、というだけではない。解説が好きなのだ。読み終わって解説を読む。作品の説明だけではなく、作家の周辺と書かれた時代背景が浮き上がってくる。中学、高校時代は時代認識もほとんどなく、解説を借りての読書であった。そして、解説の中に出てきた違う作者や本を知ることによって読書の幅は広がっていった。新刊の単行本を買ったり借りたりして読むこともあるが、気に入った本は文庫になつたらまた買う。解説が気になる。こうして、文庫本の解説を頼りに、あるいは新聞・雑誌に載った書評や広告で興味を持った本を読んでいく。そうして本を手に取り、楽しみとともにちょっとした緊張を持って読み始める。

さて、読書の楽しみとは、読む前と読み終わった後では、世界が違って見えてくることだと思う。その経験を重ねながら、少しずつ世界が広がっていく。しかし、世界が広がるということ、夢や希望が持てるというだけではなく、かえって疑問や悩みが深まっていくことだ。その疑問や悩みに導かれてまた本を読む。現在はインターネットの発達で、人は今までに経験したことのないほど大量の文章を読むようになったといわれる。しかしそれは、短い断片的な文章の集まりが多い。時には、一冊の本を手にとってその世界に身を浸してみるのも良い。読後の、ずいぶん遠くに来たものだなあとという思いと自分

を含めた世界を見る目の変化。ずいぶんと楽しく贅沢な経験だと思う。

ここで、変わった読書について。それは国語の問題集だ。問題集の文章は、作問をしやすい箇所が選ばれているということがあるが、本の中の大事な部分や中心部分が多い。それに、問題集には読んだことのない作者の小説や随想だけでなく、我々一般の人は手に取ることもない言語、哲学、科学、芸術、文化、文明など多様な分野の評論文・説明文が載っている。そうであれば、本の中の一部分を短く切り取った文章という難点はあるがインターネットの興味の向く断片的な文章を読むのとは違い、多種多様な分野の読書をしていることになると思っている。古典の問題集も同じだ。活字離れが言われて久しいが、中学生・高校生にとつて国語の問題集を解くことが貴重な読書体験になっていると私は思っている。

最後に、読書は苦手だなあという人たちにお勧めの短編集を紹介します。一冊目は『O・ヘンリ短編集』（全三巻 新潮文庫）。二冊目は『夢十夜』（夏目漱石『文鳥・夢十夜』 新潮文庫）。三冊目は『お伽草子』（太宰治 新潮文庫）。それぞれ味わい深い多くの小説を短い時間で楽しめます。気になった人は、ぜひ図書館室に行ってみてください。



# 私の読書道

第20回

## きっかけはたった一冊の本から

教諭 羽田夏美(家庭)

高校、大学の時に読んで思い出に残っている本を紹介したいと思う。その本は、森見登美彦の『夜は短し歩けよ乙女』である。図書室で何か面白そうな小説がないかと探していた時に偶然手に取ったものだ。

主人公である「先輩」は大学の後輩である「黒髪の乙女」に恋をしている。だが、奥手な先輩は近づくことができずに考案したのが「ナカメ作戦(なるべく彼女の目にとまる作戦)」である。夜の先斗町、下鴨神社の古本市、大学の学園祭で、偶然を装い彼女と出会い、外堀を埋めようとする物語である。

なんとなく手に取った本であったが物語に惹かれると共に、京都に関心を持つようになった。そのことがきっかけで大学の長期休暇を利用して、聖地巡礼も兼ねて初めて一人旅をした。その経験をしたことで、京都の文化について調べてみたり、京都だけでなくさまざまな地域に一人旅してみたいという思いを持つようになったのである。それまでは学校内外に関わらず、一人で行動することができない性格であったが、関心があることだからこそ一人でも挑

戦したいと思え、実行することができたのかなと思う。読書をすることは知識や文章能力を身につけるために大切なことだが、それだけでなく自分の視野を広げる役割も持っている。きっかけはたった一冊の本であったとしても、人生が大きく変わる、変えられる可能性も秘めているのだ。そのような私の経験から、生徒たちにもどのような本でもいいので読書をしてほしいと思う。私の高校時代を振り返ってみると読書をしっかりとしていたかというあまり自信はない。しかし、三年間を通して図書委員であったり、教室が図書室の近くであったため、友人と勉強の合間の息抜きに図書室へ行き、司書の方と会話してみたりなど、図書室に行く機会だけは多くあった。読書をしようにと思って読書をするのも良いが、それだとハードルが高いという人も多いのではないだろうか。そのことから図書室へ行く機会がないというのはいらないことである。まずは図書室へ行ってみて、司書の方とお話ししてみることから始めてみてはどうだろうか。そして次のステップとして本を手にとってもらいたい。何の気なしに手に取った本が自身を変えてくれるかもしれないのだから。まずは図書室へ行ってみよう。

※このコーナーは、図書選定委員の先生方のリレー形式となっております。



## としよかんニュース

### 先輩方からの寄贈に感謝

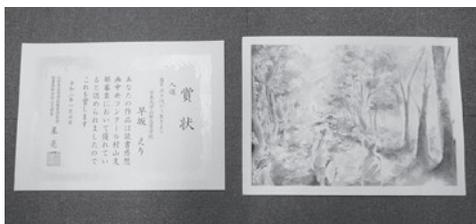
日大山高桜友会から、十一冊の図書を寄贈していただきました。山新グループの本卒業生による会で、会長は佐藤宏樹氏です。毎年寄贈していただいております。今回で二八回目になります。これまでにいただいた図書は、三四九冊になります。

閲覧室に専用書架があります。先輩方の温かい思いに感謝し、学習や調べ物に活用していただきたいと思っております。



### 読書感想画に挑戦

第三一回読書感想画中央コンクール村山支部審査にて、一年九組の早坂えりさんの作品が入選しました。本を読み終えた後に、自分らしく生きることに強い輝きを感じた早坂さん。その煌めきを表現し、ボクが見た風景を早坂さん自身も見ていることを、絵の周りの余白で表しています。読書後に感じたことを絵で表現してみると、自分の世界がより広がります。ぜひ皆さんもチャレンジしてみませんか。



ボクはどう生きよう  
『徳治郎とボク』花形みつる 著

令和元年度 日本大学山形高等学校芸術鑑賞会  
 ↓Pia-no-jacc↑  
 令和元年六月二十一日(金) 於 山形市民会館

つくりあげる音楽

一年七組 村山 あかり

六月に芸術鑑賞会が行われ、ピアノジャックによる演奏を楽しんだ。これまでの芸術鑑賞会の印象から、静かに真面目に鑑賞するものだと思っていたが、予想とは裏腹に心の底から楽しいと思うことができた鑑賞会であった。

会場の生徒が注目していたのは、あまり聞き慣れぬ楽器「カホン」だった。叩き方によって音色が変わるその魅力から、皆目が釘付けだっただろう。また、誰でも知っているような曲も演奏され、会場全体で楽しむことができた。例えば、手拍子をしたり、席から立ち上がったたり、聞くだけでなく参加することでより一体感が味わえた場面がいくつもあった。

その後も、演奏やトークで沸いたこの芸術鑑賞会は、終始笑顔が絶えなかった。音楽の楽しさは演奏者だけがつくりあげるものではないということを実感できたのではないだろうか。今後、またこのような機会があったら、ぜひ鑑賞に行きたい。



令和元年度  
**図書館講座**  
 ~読み聞かせをしよう~



〇実際に園児たちの前で読み聞かせをしてみると、練習とは全く違った雰囲気です。こんなことをしたらどんな反応をするかな、こんなことをしてみたら面白いかなと欲が出て来て、いろいろと試してみましたところ、園児たちが興味を持って楽しんでくれたので私もとても楽しかったです。読み方によって本は何度でも別の楽しみ方ができるものなので、今度は私たちが選んだ本を読みたい方も園児たちが選んだ本を読み聞かせするといつたこともやってみたいです。(二年女子)

〇講座後のアンケートより、絵本のセリフをだいたい暗記しておかけで、一度もかんだり止まったりしませんでした。練習の時よりもうまく読めたと思います。読み聞かせの後、園児のみんなが歌を歌ってくれて、とてもうれしかったです。講座に参加しようか、はじめるは迷っていましたが、今はやってみようかと思っています。(二年女子)

〇ものすごく緊張した。読むテンポが少し速くなったり、練習どおりはいかなかった。最後の子どもたちの歌には感動した。(二年男子)

〇たまに反応してくれる子どもがかわいらしくてたまりませんでした。しかし、緊張してうまくページがめくれなかったり、声量が不安定になったりしたので、もっとリラックスできたらよかったです。(二年女子)

令和元年度 図書館講座  
 「読み聞かせをしよう！」  
 小学生の児童や幼稚園の園児に絵本の読み聞かせをしてみませんか？

●日時 2019年11月19日(火)  
 4:00pm~5:00pm  
 おおぞら幼稚園にて

●練習会 10月24日(木)  
 10月29日(火)  
 11月 6日(水)  
 3:40pm~5:00 pm  
 分館にて(予定)  
※ 参加費は無料ですが、お弁当は各自でご用意ください。

読み聞かせ  
 に興味がある人、保育・福祉・児童関係への道  
 路を考えている人、ぜひ参加してください。基本  
 的に1・2年生を中心としますが、3年生でも参  
 加できます。男女は問いません。  
 みんなで読み聞かせの楽しさを  
 体験しましょう！

申込は…一週間前まで、先着15名程度に限定です。  
 申込日は10月21日(日)です。

日本大学山形高等学校 図書館

↑こんな日程で行いました！  
 参加者は11名集まりました。

日大山高生に人気のある本はこれ！ 年間図書貸出ベスト10

書名	著者名	請求番号
1位 『やはり俺の青春ラブコメはまちがっている。』	渡 航	913.6 ワ
2位 『盾の勇者の成り上がり7』	アネコユサギ	913.6 ア
3位 『図書館の魔女4』	高田 大介	913.6 タ
4位 『俺と蛙さんの異世界放浪記4』	くずもち	913.6 ク
5位 『キノの旅2 the beautiful world』	時雨沢恵一	913.6 シ
6位 『空の境界 中』	奈須きのこ	913.6 ナ
7位 『緋弾のアリア』	赤松 中学	913.6 ア
8位 『ホーンテッド・キャンパス 幽霊たちとチョコレート』	榎木 理宇	913.6 ク
9位 『麦本三歩の好きなもの』	住野 よる	913.6 ス
10位 『スタンフォード式最高の睡眠』	西野 精治	498.3 ニ

1位の『やはり俺の青春ラブコメはまちがっている。』を始めに、多くのライトノベルがベスト10に入っています。10位にラブコメでも小説でもない本が入っているのを見ると、本校の生徒はあまり快適な睡眠をとれていないのでは、と少し心配してしまいます。これを機にあまり快適に眠れていない皆様は、ぜひこの本を借りてみてはどうでしょうか。

もちろんこの本以外にも面白い本はたくさんあるので、ぜひ図書館に足を運んでみてください。個人的に『キノの旅』はアニメ化もされていて、読んでいてとても楽しいのでオススメです。

(2年 笠原 高)



# 多読クラス賞&ベストリーダー賞 受賞おめでとう!

## ◆多読クラス賞

十二月の二期期の終業式で多読クラス賞の表彰を行い、各学年一位のクラスに島津校長先生から賞状が贈られました。各学年一位のクラスからは、驚きや喜びの声が聞かれました。該当クラスの図書委員は、来年度も一位を目指す、もっと多くの人に本を読んでもらいたい、という来年度に向けての目標を話していました。

◆多読クラス賞の集計は四月から始まります。ぜひクラスで誘い合って、読書を楽しんでほしいと思います。

## ◆ベストリーダー賞

◆ベストリーダー賞は、今年度もベストリーダーが決められました。例年に比べ男子の受賞者が多く、その中には一〇〇冊以上本を読んでいる人もいます。今年度のベストリーダー賞の集計は終わりますが、引き続き読書を楽しんでほしいと思います。図書館ではこれからも様々な本を揃えて、皆さんの来館をお待ちしています。

### 学年別の部

<b>3学年</b> ★1位 K・Tさん 21冊 ★2位 R・Sさん 20冊 ★3位 M・Mさん 19冊	<b>1学年</b> ★1位 N・Kさん 60冊 ★2位 N・Wさん 43冊 ★3位 T・Fさん 42冊
	<b>2学年</b> ★1位 K・Sさん 206冊 ★2位 Y・Mさん 132冊 ★3位 K・Tさん 89冊

### コース別の部

(コース別の部は学年別の部から選ばれた人が対象)

<b>特進コース</b> ◆1位 K・Wさん ◆2位 G・Sさん ◆3位 E・Tさん	<b>スポーツコース</b> ◆1位 S・Wさん ◆2位 Y・Sさん A・Yさん
	<b>進学コース</b> ◆1位 T・Wさん ◆2位 Y・Sさん ◆3位 A・Tさん

※各部門とも、平成31年4月～令和2年1月までの個人の総貸出冊数で集計



3年13組



1年9組

★1年9組	3.3冊
★2年9組	11.9冊
★3年13組	1.9冊
全校生平均	1.1冊

※平成31年4月～令和元年11月までの貸出冊数÷各クラスの数で集計



2年9組

## 私の一冊

### 『坂の上の雲 一〜六』

我々が日露戦争について学校で学ぶことは、日本海軍戦にて東郷平八郎率いる日本海軍が、バルチック艦隊に大勝利したことくらいだろう。しかし日本海軍戦に至るまでには、数々のドラマがあった。一人以上の犠牲の末勝利した旅順攻囲戦、祖国日本を勝利へ導いた偉大な軍人達の物語、バルチック艦隊の旅路。

この作品は、「明治」という時代を描く壮大な叙事詩である。最強の陸軍ロシアに日本が勝つなど、誰も予想していなかった。この戦争での勝利は、白人による世界支配の終わりの始まりであり、アジア独立への一歩となった。先人の功績を忘れてはならない。彼らなしに今はないのだ。

一年三組 深瀬 利宗

### 『オーダーは探偵に 謎解き薫る喫茶店』

就職活動に疲れ切った女子大生・美久が迷い込んだのは、井の頭恩師公園の奥にある不思議な喫茶店「エメラルド」。そこにいたのは、少し変わったマスター・真紘と、その弟で、美しい外見に反して腹黒い性格の持ち主の高校生・悠貴でした。しかも悠貴は、表と裏の差が激しく生意気で、解けない謎はないといわれている「エメラルド」の探偵「だったのです」。

「魔法使いはエメラルドの中にいる。ブリキのカカシと一緒に」  
この言葉を頼りにやってきた依頼人の謎を解くため、悠貴とコンビを組むことになった美久。名探偵とドジな助手による謎解きという名のティータイムを、ぜひお楽しみ下さい。

二年十一組 原田 椋楽

### 『ランチのアッコちゃん』

主人公の澤田三智子は恋人に振られ、落ち込む彼女を営業部長のアッコさんがランチに誘う。節約のために弁当を持参している三智子は誘いを断るが食欲がない。持ち帰ろうとしていた弁当を、アッコさんが食べたと言ったため譲ったところ、三智子の弁当を気に入る。翌週の二週間、自分のランチと取り替えてくれという提案をする。その代わりに、アッコさんは自分のランチコースを教える行かせる。気乗りがしない三智子だが、アッコさんのランチコースを巡るうちに、少しずつ元気を取り戻していく。

食を通じて、心が暖かくなる物語。優しいアッコさんを魅力的に感じる。美しいランチと、成長していく三智子とアッコさんとのやり取りが面白い。この本には他に三話入っているので最後まで楽しく読める一冊だ。

三年六組 山田 果歩



司馬 遼太郎 著



近江 泉美 著



柚木 麻子 著



# 図書委員会活動報告



新たな発見ができた一年間  
前期委員長 三年十三組 阿部 壮 男

私はこれまで、面倒な事は極力避けてきました。しかし、この二年間委員長としての活動を通して、仕事のやりがいや楽しさを感じることができました。

一年間の中で特に大変だったのが、桜華祭での古本市でした。桜華祭の準備や当日は古本市の他にも生徒会の仕事があり、クラスの手伝いや自分の時間をとるのも難しいほど慌ただしかったです。しかしその中でも、新しい楽しさを発見することができました。今までとは違い、仕事の辛さをあまり感じることがなく、密度の濃い時間を過ごすことができて良かったです。

委員長として過ごした一年は、あつという間でした。このような貴重な経験をする機会を与えてくださった先生方、そして、こんな委員長についてきてくださった委員の皆さん、本当にありがとうございました。



委員長始めました。  
後期委員長 二年三組 椎 名 悠 真

後期委員長になりました、椎名悠真です。私は委員会目標の「様々な人に図書館と本の魅力を伝える」を達成できるように、日々各クラスの図書委員と協力し活動しています。

委員会の目標もありますが、個人的に目指しているものがあります。それは「本を読まない人には本を見つけるきっかけを、本好きには本を読みやすい環境をつくる」というものです。そのために日大図書通信や新着本のお知らせなど、本に興味を湧くような物を掲示しています。

今まで図書委員の経験はありますが、重要な役回りの経験がまだありません。未熟者ではありますが、日々精進していきます。一年間よろしくお願ひします。

活動目標 ● 様々な人に図書館と本の魅力を伝える  
キャッチフレーズ ● 本の数だけ広がる世界は無限大



## ライブラリーフォト

図書館・図書委員この1年



# お知らせ&お願い

～図書館に関わる情報、新着図書情報、写真ニュースなど  
随時更新しています！



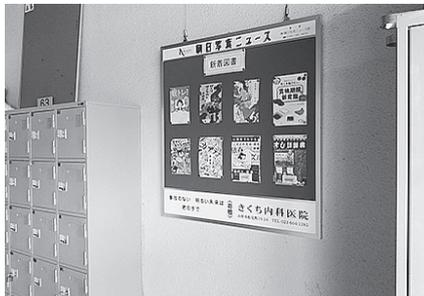
②2号館部室棟寄り階段脇1階



①2号館部室棟寄り階段下図書館前



④6号館玄関前廊下



③6号館玄関

情報満載！掲示板に注目！

## 平成31年度 図書委員会

A (読書推進)、B (資料装備)、  
C (広報・データ) の3グル  
ープがあり、月曜～土曜までの  
6つの班に分かれて活動してい  
ます。



Aグループ



Bグループ



Cグループ

<b>〈前期執行部〉</b>	
委員長 3年13組 阿部 壮男	副委員長 3年9組 原田 唯菜
グループリーダー A 3年13組 恒儀 晃太	グループリーダー 2年10組 鈴木さくら子
B 3年12組 小山 璃乃	A 2年8組 笠原 嵩
C 3年7組 矢口つつみ	B 2年10組 齊藤 葉
2年生代表 2年10組 鈴木さくら子	C 2年3組 菅野 一花
<b>〈後期執行部〉</b>	
委員長 2年3組 椎名 悠真	副委員長 2年10組 鈴木さくら子
グループリーダー A 2年8組 笠原 嵩	グループリーダー 1年9組 五十嵐賢大
B 2年10組 齊藤 葉	C 2年3組 菅野 一花



このメンバーを中心に、図書館と  
本の魅力を伝えていきます！

5組	4組	3組	2組	1組	2学年	10組	9組	8組	7組	6組	5組	4組	3組	2組	1組	1学年			
塚野	石山	小林	菅野	中村	柏倉	柴崎	伊藤	樋口	五十嵐	加賀	奥山	伏見	遠藤	勝又	小野	荻野	深瀬	伊藤	志鎌
景大(前)	颯大	彩華	一花	友喜(前)	純太郎	有毅(前)	友雅(後)	晴輝(前)	賢大	悠希	舞衣(前)	春輝(前)	華鈴	楓花	日和	星(前)	利宗	来瑠	幹太
菅野	森	椎名	悠真	加瀬谷	高橋	船山	薄羽	菊地	二井	竹田	松田	和田	山口	和	新開	里彩(後)	佐藤	三浦	大河
真生(後)		萌羽		玲杜(後)	崇斗	和暉(後)	優介(前)	孝太(後)	一絃	琴音(後)	春汰(後)	愛美(後)	菜々歩	愛美(後)			希海		

13組	12組	11組	10組	9組	8組	7組	6組	5組	4組	3組	2組	1組	3学年	11組	10組	9組	8組	7組	6組	
阿部	小田	黒沼	原田	工藤	鈴木	矢口	齋藤	栗原	門屋	大沼	伊藤	深瀬	深瀬	原田	渡邊	櫻井	笠原	神林	石川	黒田
壮男	切星	南帆	香太	唯菜	サナ	つつみ	怜奈	未紗	奈織	拓翔	奈織	拓翔	拓翔	原田	健太	幹太	幹太	百香	結花(後)	愛乃(前)
恒儀	小山	深木	福田	佐藤	鑑水	山田	松田	富士	熊谷	金子	渡辺	渡辺	渡辺	横尾	齊藤	滝口	古澤	木川	高橋	洪江
晃太	璃乃	健吾	辰丞	譜友	美咲	仁成	果歩	仁成	果歩	優斗	汐音	汐音	汐音	拓磨	拓磨	拓磨	和馬	紅葉	美玖(後)	麻結(前)

※(前)：前期のみ (後)：後期のみ

利用のしかたやマナーを理解した上で  
思っ存分利用してください！

### 〈圖書の貸出について〉

- ・本は一人三冊、二週間まで借りることができます。
- ・借りたい本がある時はリクエスト(予約)できます。
- ・まだ読みたいのに貸出期間が過ぎてしまった本があれば貸出延長の手続きをしてください。本を持ってきてもらえれば簡単に手続きできます。

### 〈閲覧室等の利用について〉

- ・利用者名簿にクラス、番号、名前を記入してください。統計を取ります。
- ・飲食は絶対に禁止です。
- ・私語を慎み心静かに利用してください。通路のコピー機を利用する際も私語を慎み心静かに、機械を大切に扱ってください。
- ・閲覧室の学習机などに落書き、いたずらをしないでください。掲示物、テプラ等も同様です。はがれかけている等、異常がありましたら、一言お知らせください。

一人一人が周囲のことを考えて、  
みんなが気持ち良く利用できる図書館に！

## 編集後記

県立図書館が2月にリニューアルオープンを迎え、その週末に様々なイベントが行われた。記念講演のほか、今時のアクティブラーニングやICT教育に関する発表などもあった。そんな中へ私も足を運んでみた。明るい、新しい館内。人であふれていたが、図書館らしい落ち着いた雰囲気を保ち、不思議とストレスを感じない。思い思いのブースで話を聞き情報を吸収したり、書物に囲まれ時間を過ごしたりしていた。やっぱり図書館が好きだなって多いんだな、というのが正直な感想。県の顔である図書館と、こちら学校図書館は役割が少し違うが、人が寄ってくる図書館っていいなと改めて感じた。(小山)